

新成人 誓いのことば

◆新成人代表 井上 海奈さん（市島地域）



ふるさととは自分たちの誇り
大人としての自覚を胸に
仲間と共に歩んでいきたい

私は、高校卒業後大学進学のため京都に渡りました。はじめて故郷や親元、そして小、中、高と競い合いながらも共に過ごしてきた友人とも離れ、不安でいっぱいの一人暮らしの生活がはじまりました。そんな時、支えになっていたのは両親からの連絡でした。強がって素直に感謝の気持ちを今まで伝えていなかったのですが、ちょっとした手紙や電話でも、私に大きな安心感と勇気を与えてくれていました。また、自分自身が挫折しそうな時、心の支えとなったのは丹波の友人の存在でした。連絡をとるだけでもどこか落ち着き、様々な悩みを相談でき自分が自分らしくいられる場所だと実感しました。

私は今、英語教師の夢に向かって勉学に励んでいます。この生まれ育った丹波に恩返しするためにも教師の夢を叶え丹波の地に帰ってきたいと思っています。そう思うようになったきっかけは、丹波に住む方々の心の温かさや優しさ、また、緑あふれる丹波の地を望むと、やはり自分は丹波が好きだということやそこが自分の原点だと気づいたからです。私が思う教師の魅力はその生徒にとっての「先生」で一生有り続けられることです。そのために、いじめなどの様々な教育問題が増えてきている現在、生徒にとって心の支えになれる教師になりたいと思っています。

私たちは二十歳という大きな節目を迎えましたが、成人としてはまだまだ未熟です。社会に出て働いている人や学業に励んでいる人など立場は様々ですが、成人としての門出を迎えた今、大人としての自覚をもち、責任ある成人として前向きに歩いていくことを誓います。この自然豊かな丹波市に生まれ、仲間と今こうして「丹波市」の新成人として誓いを共にし、このふるさとを自分たちの誇りとして心に刻んでいきたいと思っています。

*紙面の都合上、一部割愛しています



①今年の式典には、昨年を上回る630人が出席②仲間たちと晴れ着姿で記念撮影③式典を見つめる新成人④辻市長から新成人へ記念品が贈呈されました

⑤中学校時代を振り返るスライドショー⑥懐かしい写真に思わず笑みがこぼれる新成人⑦友人と共に式に参加⑧⑨にこやかな表情で記念撮影に臨むようす

最終ページには
新成人からの
感謝のメッセージ
を掲載♪



未来を見つめる瞳はそれぞれに輝いていました。大人としての決意と自覚を胸に刻み、これから783通りの人生を歩みはじめます。

成人おめでとう！－平成27年丹波市成人式－

～自覚を胸に新たな門出～

おとな、はじまる。

783人が大人の仲間入り

本年度、成人を迎えたのは、平成6年4月1日から平成7年4月2日生まれの783人のみなさん。このうち約8割に当たる630人が、1月11日、丹波の森公苑で行われた「平成27年丹波市成人式」に出席しました。

華やかな晴れ着やスーツ、紋付き袴を身にまとい、式典に臨んだ新成人。辻市長は、「地域社会の一員として、未来を担っていく義務と責任を果たしてほしい」とエールを贈りました。また、新成人代表の井上海奈さん（市島地域）は、「大人としての自覚をもち、責任ある成人として前向きに歩いていくことを誓います」と力強く話しました。

そのほか、中学校時代の修学旅行や運動会、授業風景などの懐かしい写真や恩師からのお祝いのメッセージビデオがスクリーンに流れると、会場内には新生人の大きな歓声や笑い声が響きました。晴れの門出を迎え、彼らの



①今年は会場を柏原住民センターから丹波の森公苑に移し開催されました②③友人との再会を喜ぶ姿があちらこちらで見られました



④さっそうと式典会場に向かう新成人⑤新成人であふれかえる式典会場前⑥⑦記念撮影を楽しむようす



⑦